

現在、当院救急科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

後ろ向き観察研究 急性腹症患者における腹部 CT 所見（糞便性大腸炎、閉塞性大腸炎）に関する疫学研究

2. 対象となる方

当院で 2001 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 16 日の間に急性腹症患者で腹部 CT 撮影を行い、画像所見において糞便性大腸炎、閉塞性大腸炎を認めた患者さん（外来、入院共に含む。）

3. 研究の目的

近年の高齢化に伴い、難治性便秘が増加しています。難治性便秘を放置しておくと、大腸に炎症を来し、糞便性大腸炎、閉塞性大腸炎という、大腸の炎症を引き起こす可能性があります。一方、その発生メカニズムや原疾患の頻度、診断・分類方法、適切な治療法、予後に関しては、明確なコンセンサスやエビデンスが存在しません。今回の研究の目的は、カルテデータベース、および各部門システム（画像診断システム等）を用いて当院が診療に関与した急性腹症患者で、腹部 CT 画像所見上、糞便性大腸炎、閉塞性大腸炎を認めた患者さんの情報を集め、疫学的に研究し、予後関連因子や適切な治療法に関する検討し、今後の診断、治療に役立てたいと思っています。

4. 研究期間

2017 年 4 月 7 日（倫理審査委員会承認後）～2020 年 3 月 31 日（予定）

5. 研究に使用する情報の種類

診療情報等：患者基礎情報（年齢、性別、身長、体重）、リスク因子（喫煙、飲酒、など）内服薬（降圧薬、など）基礎疾患（高血圧、高脂血症、糖尿病、高コレステロール血症、など）家族歴、症状（発症様式、腹痛の部位、など）、診断日の血液検査（WBC、CRP、D-dimer、など）、超音波検査、腹部単純造影 CT 検査、血管造影検査、鎮痛薬使用状況、降圧薬使用状況、抗血小板薬使用状況、抗凝固薬使用状況、等

予後関連データ：総死亡、合併症、手術の有無、等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院救急科 部長 市場稔久

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院救急科 部長 市場稔久